

地方行政サービス改革の取組状況等(令和3年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
012131	北海道	苫小牧市	都市 IV-3

(1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村分)委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.6%
本庁舎の夜間警備			96.6%	98.5%
案内・受付			92.3%	89.9%
電話交換			96.3%	92.8%
公用車運転			86.7%	88.6%
し尿収集			100.0%	98.2%
一般ごみ収集			100.0%	97.5%
学校給食(調理)			93.5%	72.5%
学校給食(運搬)			100.0%	91.2%
学校用務員事務	○	業務内容等の精査を行い、適切な在り方について検討を進める。	41.4%	38.0%
水道メーター検針			100.0%	99.0%
道路維持補修・清掃等			100.0%	97.1%
ホームヘルパー派遣			100.0%	99.1%
在宅配食サービス			96.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持			100.0%	99.7%
ホームページ作成・運営			100.0%	97.8%
調査・集計			96.6%	96.3%

※令和3年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(3)窓口業務

総合窓口の設置		設置状況	設置済	→	予定時期	令和2年1月
BPRの手法を用いた業務分析		取組状況	○	→	業務改革効果	

窓口業務の民間委託		委託状況	
委託率	委託有		

【参考】			
類似団体		全国(市区町村分)	
総合窓口設置率	委託率	総合窓口設置率	委託率
22.6%	71.0%	14.2%	27.4%

(4)庶務業務の集約化

実施状況	委託状況	対象部局				対象業務			
実施済	委託有	首長部局	企業局	教育委員会	その他	給与	旅費	福利厚生	財務会計
		○	○	○		○			

「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。
【人口が5万人未満の団体は回答不要】

【参考】	
類似団体	
実施率	委託率
71.0%	9.7%
全国(市区町村分)	
実施率	委託率
33.5%	3.3%

BPRの手法を用いた業務分析		取組状況		→	業務改革効果	
----------------	--	------	--	---	--------	--

(2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐させている事に対する考え方	【参考】	
							類似団体導入率	全国(市区町村分)導入率
体育館	3	3	100.0%		0		66.4%	40.1%
競技場(野球場、テニスコート等)	7	7	100.0%		0		58.8%	48.4%
プール	2	2	100.0%		0		63.3%	52.0%
海水浴場	0	0			0		0.0%	13.7%
宿泊休業施設(ホテル、国民宿舎等)	1	1	100.0%		0		70.0%	85.0%
休業施設(公共浴場、海・山の家等)	2	1	50.0%	指定管理者制度を導入していない施設は管理を業務委託としているため。	0		52.9%	75.6%
キャンプ場等	2	2	100.0%		0		61.5%	59.2%
産業情報提供施設	1	0	0.0%	業務の専門性が高く、かつ技術の守秘義務を負うことが多いことから、直営が適当と考えるため。	1	直営の施設としていることから、常駐する職員の配置は必須であると考える。	79.4%	75.0%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		85.7%	65.8%
開放型研究施設等	0	0			0		40.0%	40.2%
大規模公園	3	3	100.0%		0		78.0%	44.2%
公営住宅	18	0	0.0%	現在、指定管理者制度の導入や民間委託について検討を進めているため。	18	必ずしも自治体職員の配置が必要な施設ではないことから、指定管理者制度の導入や民間委託について検討を進めている。	31.3%	16.2%
駐車場	0	0			0		64.2%	37.1%
大規模公園、斎場等	4	1	25.0%	指定管理者制度を導入していない施設(霊園)については、管理を業務委託としているため。	0		26.3%	22.8%
図書館	1	1	100.0%		0		25.4%	20.2%
博物館(国史跡、国史跡、国史跡)	3	0	0.0%	専門性が高く、教育的観点から長期的な公益性を重視するため。	3	直営の施設としていることから、常駐する職員の配置は必須であると考える。	32.6%	28.1%
公民館、市民会館	6	5	83.3%	指定管理者制度を導入していない施設については、出張所機能を併用していることから直営としているため。	1	直営の施設としていることから、常駐する職員の配置は必須であると考える。	31.3%	22.8%
文化会館	2	2	100.0%		0		66.1%	51.5%
合宿所、研修所等(県が県の委託)	0	0			0		51.7%	50.1%
特別養護老人ホーム	0	0			0		100.0%	74.7%
介護支援センター	0	0			0		84.6%	49.0%
福祉・保健センター	3	3	100.0%		0		58.8%	53.0%
児童クラブ、学童館等	37	7	18.9%	児童センターは令和2年度より全館指定管理者制度導入。放課後児童クラブについては、民間委託について検討中	30	直営の施設としていることから、常駐する職員の配置は必須であると考える。	38.6%	24.5%

(5)自治体情報システムのクラウド化

実施済	○	→	類型	
			自治体クラウド	
			単独クラウド	○

【参考】	
実施率(類似団体)	
自治体クラウド	単独クラウド
58.1%	6.5%
全国	
自治体クラウド	単独クラウド
41.4%	58.6%

(6)公共施設等総合管理計画

策定済	○	→	策定予定		→	策定予定時期	
-----	---	---	------	--	---	--------	--

【参考】	
類似団体	
策定割合	策定割合
100.0%	99.9%

(7)地方公会計の整備

作成済	○	→	作成予定		→	作成完了予定年度	
-----	---	---	------	--	---	----------	--

【参考】	
類似団体	
作成割合	作成割合
93.5%	85.8%

(注1)統一な基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。

(注2)「作成済」の※印は、平成30年度決算から取引の都度、伝票単位ごとに仕訳を行う方法(日々仕訳)により令和元年度中に財務書類の作成を行う団体